

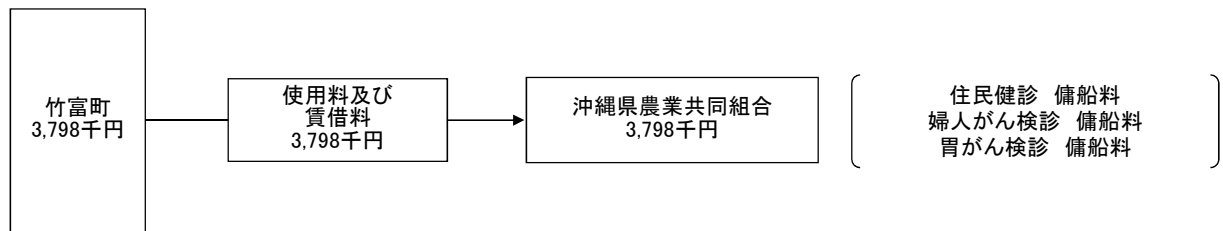
市町村名		竹富町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	健康診査用機材搬送事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部課名	健康づくり課	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9		
事業内容	集団検診(住民健診・胃がん検診・婦人がん検診)時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を行い、健康診査受診の促進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	3,840	3,840	3,894	3,900	3,900
	(b) 予算現額	3,569	3,892	3,705	3,696	3,797	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 271	52	▲ 189	▲ 204	▲ 103	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—	
	A. 計(b+d)	3,569	3,892	3,705	3,696	3,797	
	B. 執行済額	3,568	3,892	3,412	3,696	3,797	
	うち交付金充当額	2,854	3,113	2,729	2,956	3,037	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	92.1%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		備船船舶の運航ルート等調整により、当初予算より減額が生じたものの、計画どおりに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	検診機材搬送年3回実施 (検診3回×5島6地区=18件)	目標	(18件)	(18件)	(18件)	(18件)	
		実績	18件	18件	18件	18件	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	・住民健診、胃がん検診、婦人がん検診実施時に、石垣島より町内各島を経由し検診機材を貨物船を備船して運搬した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(26年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
			(2134名)	(2134名)	(2091名)	()	
	集団検診受診者数	目標	(1645名)	(2134名)	(2134名)	(2091名)	()
		実績		1417名	1462名	1713名	
	目標	()	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	・事業実施により、多数の各島住民が住民健診を受けることができ、健康増進及び経済的負担を減らすことができた。 ・集団検診受診者数は、合計1713名(住民健診1338名・婦人がん検診223名・胃がん検診152名)であり、目標を達成できなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・集団検診受診者数は増加しているものの、目標値(町内成人の60%)を達成できていない。 ・検診日は各島において1日のみとなるため、より多くの地域住民へ受診機会を提供するには、検診実施日の周知が重要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の成果目標は、町内成人の一定割合を目標値としているが、社会保険加入者については、町での把握が難しい職域健診を受診しており、的確な成果指標であるか検討が必要である。 ・より多くの地域住民への受診機会提供に向けて、検診実施日の効果的な周知方法を検討する必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の成果目標は、事業の成果をよりの確に示す指標への見直しを行い、国が定めている特定健診受診率の目標値や過去の実績値を踏まえて、目標値を設定する。 ・新しい周知方法(竹富町公式LINE)等を導入し、より多くの地域住民へ受診機会を提供できるように取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,797	3,797	3,037	760	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備船契約にあたっては、検診車両を積載可能な船舶を所有する全ての事業者(3者)に見積依頼を行っており、支出先の選定方法は妥当であったと考えている。 ○不用は生じておらず、予算規模は適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途は検査により確認されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	竹富町お出かけサポートモデル事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(7)-ウ		
担当部署名	福祉支援課	事業実施(予定)年度	平成26～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	人にやさしい交通手段の確保		
事業内容	高齢者及び障害者等の外出機会増加による、自立生活助長を図るため、予約制の送迎サービスをお出かけサポートモデル事業として、西表島西部及び東部地区にて実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,000	8,500	6,000	6,000	6,000
		(b) 予算現額	3,000	7,120	6,000	6,000	6,000
		(c) 増減額(b-a)	0	▲1,380	0	0	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		3,000	7,120	6,000	6,000	6,000
	B. 執行済額		3,000	6,974	6,000	5,900	5,998
	うち交付金充当額		2,400	5,557	4,800	4,720	4,798
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	97.9%	100.0%	98.3%	100.0%
予算の状況の説明		運営管理委託2事業所と契約し、当初計画通りの予算が執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	西表島西部地区及び東部地区への送迎サービスの実施	目標	(送迎実施)	(送迎実施)	(送迎実施)	(送迎実施)	
		実績	実施完了	実施完了	実施完了	実施完了	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・西表島の東部地区及び西部地区で送迎サービスを実施し、2地区の延べ利用者数は886名であった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	利用者へのアンケートで、社会的孤立感の解消が図れたか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績			100%	100%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・利用者へのアンケートにおいて社会的孤立感の解消が図れたとの回答が100%となり、目標を達成した。					

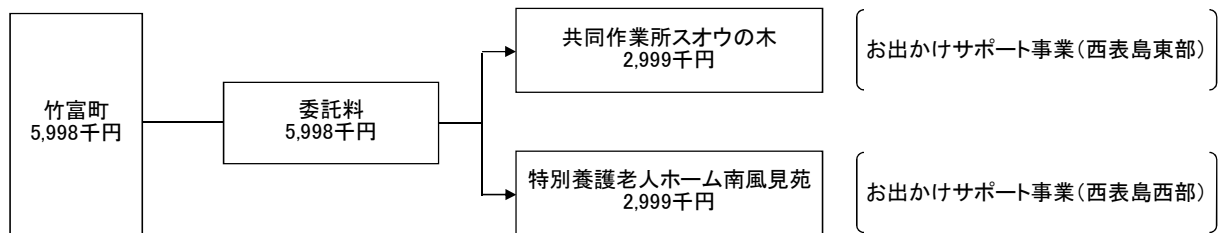
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、65歳以上の高齢者及び障害者を対象に実施しているが、令和元年度は新規登録者が3名となり、住民への周知が課題となっている。 事業を実施している2地区以外の地域においても、送迎サービスの需要はあるものの、担い手となる事業者の確保が難しいため、他地区への事業拡大にあたっては、地域の実情に応じた事業スキームの検討が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎サービスの利用を必要としている方々へ効果的な周知方法を検討する必要がある。 他地区への事業拡大にあたっては、送迎サービスのニーズを的確に把握し、実現可能となる事業スキームを検討する必要がある。

今後の取り組み方針

・送迎サービスの利用を必要としている方々へ本事業を周知し、新規加入者の増加に向けた取り組みを実施する。
 ・委託事業所の要件緩和や利用料の有償化等の検討を行い、各地域ごとの需要と供給のバランスを踏まえた制度設計を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
5,998	5,998	4,798	1,200	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、実績、地域等を勘案し規則に沿って選定し妥当であった。 ○不用は生じておらず、予算規模は適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については、精算段階で、検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・紙媒体の割引チケットからQRコードを活用したシステムを導入し、円滑なチケット購入が可能となったものの、利用者の属性情報の更新(子供料金から大人料金への移行等)に課題があることが判明した。</p>	<p>・利用者の属性情報の更新が容易となるようなシステム改修などを検討する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・必要となるシステム改修を実施するとともに、アンケートにおいて利用者の乗船動向や要望を把握し、さらなる利便性向上に取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
86,645	86,645	69,316	17,329	0

竹富町
86,645千円

負担金
86,645千円

八重山観光フェリー株式会社
42,785千円

有限会社安栄観光
43,661千円

有限会社船浮海運
199千円

竹富町民等船賃負担軽減事業

資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先は、町内に航路を有する全ての船会社であり、妥当といえる。</p> <p>○年度途中に実績額を元に予算を見込み、不用が生じていないことから、予算規模は適正であった。</p> <p>○料金設定をJR料金並みとしている為、町民の利便性・公平性からも妥当といえる。</p> <p>○費目・用途については町民の船賃負担軽減に必要なものに限定されていた。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			

市町村名		竹富町				
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-④		干立地区防災機能改善事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ
	担当部課名	防災危機管理課		事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所
事業内容	西表島干立地区の金座山に津波避難施設を整備し、津波等の自然災害に対する防災力の向上を図る。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a) 当初予算額	10,000	14,904	102,666	
	(b) 予算現額	9,828	14,796	118,965		
	(c) 増減額(b-a)	▲172	▲108	16,299		
	(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計(b+d)	9,828	14,796	118,965		
	B. 執行済額	9,828	14,796	118,965		
	うち交付金充当額	7,862	11,836	80,877		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明	工法の変更に伴い増額となったが、執行率は99.3%で適正な予算規模だと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	環境モニタリング調査業務実施	目標	(業務実施)	()	()	
	工事基本設計業務実施	実績	業務実施			
	測量基本調査業務実施					
	避難路調査実施設計の実施	目標	()	(業務実施)	()	
	実績		業務実施			
工事及び環境モニタリングの実施	目標	()	()	(業務実施)		
	実績			業務実施		
達成状況説明	当初予定していた工法の変更に伴い変更契約が生じたが、工事及び環境モニタリングを実施できた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
		環境モニタリング調査業務完了	目標	()	(業務完了)	()
	工事基本設計業務完了	実績		業務完了		
	測量基本調査業務完了					
	避難路調査実施設計完了	目標	()	()	(業務完了)	()
		実績			業務完了	
	工事及び環境モニタリングの完了	目標	()	()	()	(業務完了)
		実績			業務完了	
	【R2成果目標】 整備した避難路を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	(2回)
		実績				
【R2成果目標】 避難訓練参加者にアンケート調査を実施し、安心・安全に避難できるか(80%)を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	(80%)	
	実績					
進捗状況説明	工事の進捗過程で、樹木根の保護が必要な箇所が発生したため一部工法を変更したが、工期内に工事及び環境モニタリングは完了した。					

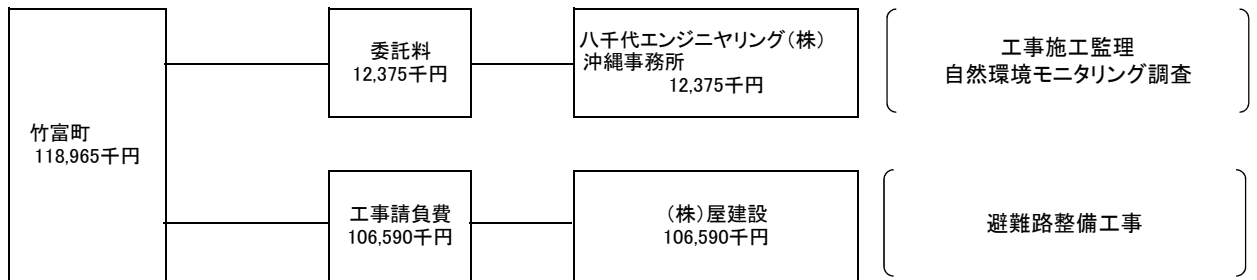
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 整備した避難路周辺は、樹木が多く繁茂していることから、定期的な現地確認と避難路の維持管理が課題となる。 整備した避難路について、地域住民及び観光滞在者への周知が重要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の自然環境の変化を確認しながら、整備した避難路を維持管理していく必要がある。 津波等の自然災害時に整備した避難路を活用して迅速に避難が可能となるよう地域住民及び観光滞在者へ周知していく必要がある。

今後の取り組み方針

・周辺自然環境の変化を継続的にモニタリングしつつ、避難路を適切に維持管理していく。
 ・地域住民と観光滞在者の安全性と利便性を確保する為、避難訓練を実施するとともに、避難訓練参加者にアンケート調査を実施し、安心・安全に避難できるか検証する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

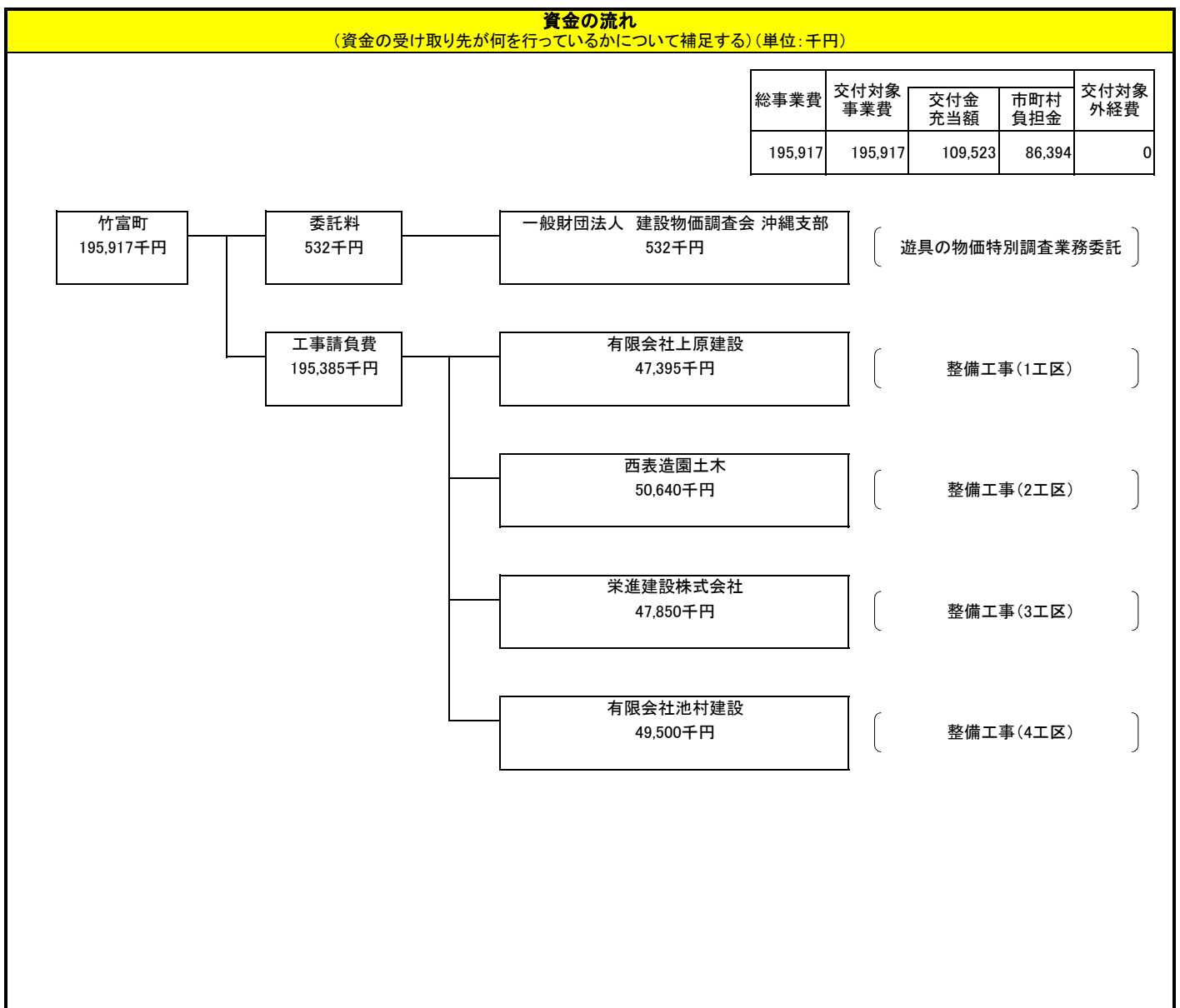
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
118,965	118,965	80,877	38,088	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○執行率は99.3%で適正な予算規模であったと考える。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	西表東部公園整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 III-9	
事業内容	西表東部地区に公園を整備し地域住民の福祉向上を図るため、遊具施設等の公園整備工事を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	12,965	61,060	196,000		
	(b)予算現額	12,030	52,829	195,917			
	(c)増減額(b-a)	▲935	▲8,231	▲83			
	(d)繰越額	—	—	—			
	A.計(b+d)	12,030	52,829	195,917			
	B.執行済額	11,612	52,827	195,917			
	うち交付金充当額	9,288	42,262	109,523			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	96.5%	99.9%	100.0%			
予算の状況の説明		事業内容を遂行し適切な予算であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	公園整備基本設計作成	目標	(作成実施)	()	()	()	
		実績	作成実施				
	公園整備実施設計作成及び用地取得業務の実施	目標	()	(実施)	()	()	
		実績		実施			
公園整備工事の実施	目標	()	()	(実施)	()		
	実績			実施			
達成状況説明	本年度予定していた公園整備工事を実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R4年度)	
		目標	()	(基本設計完了)	(実施設計等完了)	(整備工事の完了)	()
	実績		基本設計完了	実施設計等完了	整備工事の完了		
	【R4成果目標】施設利用者満足度(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	目標	()	()	()	()	(80%)
		実績					
進捗状況説明	本年度予定していた公園整備工事を完了した。令和2年度も整備工事を行う。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	公園に隣接する原野から野生動物(イノシシ等)の侵入があり今後、施設の維持管理に課題がある。	公園の安全面を考慮し、野生動物の侵入対策を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
必要に応じ猪垣フェンスやハブ返し等の設置に向けて検討するとともに、令和4年度から供用開始できるよう取り組む。		

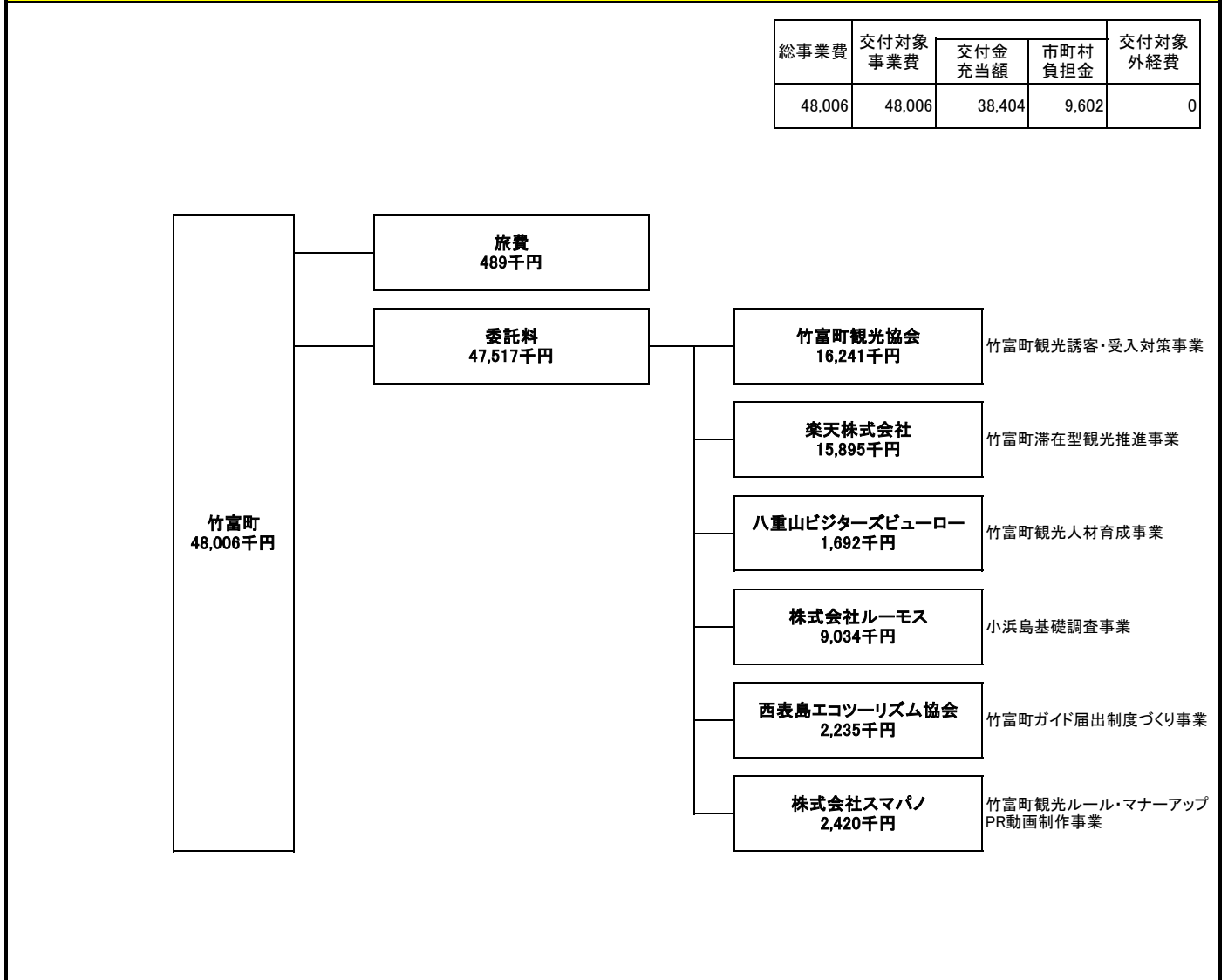


資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者、工事請負業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○不用は発生しておらず、予算規模は適正な規模であった。 ○費目、使途については完了段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	観光誘客・受入対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部課名	世界遺産推進室	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	本町の滞在型観光の促進を目的とした誘客宣伝活動及び受け入れ体制の強化・整備を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	44,248	46,058	57,026	47,259	49,877
	(b) 予算現額	33,865	44,307	48,753	47,259	48,006	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 10,383	▲ 1,751	▲ 8,273	0	▲ 1,871	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	33,865	44,307	48,753	47,259	48,006	
	B. 執行済額	26,902	44,306	48,689	46,402	48,006	
	うち交付金充当額	21,521	35,444	38,951	37,121	38,404	
	次年度繰越額	-	-	-	-	-	
	執行率(%) (B/A)	79.4%	100.0%	99.9%	98.2%	100.0%	
予算の状況の説明		観光協会への委託事業内に含まれていた人件費について、年度途中からの採用となり、不用が見込まれたことから、他事業へ流用した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	誘客宣伝活動	目標	(誘客宣伝活動6か所)	(誘客宣伝活動5回)	(誘客宣伝活動5回)	(誘客宣伝活動2回)	
		実績	誘客宣伝活動6か所	誘客宣伝活動5回	誘客宣伝活動4回	誘客宣伝活動2回	
	ポイントシステムの整備・充実	目標	()	()	()	(整備・充実)	
		実績				整備・充実	
	滞在型観光推進ポータルサイト構築	目標	()	()	()	(サイト構築)	
		実績				サイト構築	
	観光人材育成講習会	目標	()	()	()	(3回実施)	
		実績				3回実施	
小浜島基礎調査事業	目標	()	()	()	(調査実施)		
	実績				調査実施		
ガイド届出制度づくり	目標	()	()	()	(条例制定)		
	実績				条例制定		
マナーアップ&注意喚起コンテンツ制作	目標	()	()	()	(コンテンツ制作)		
	実績				コンテンツ制作		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 誘客宣伝活動においては、訪れやすい直行便が就航する地域にて滞在型観光を前提とした宣伝活動を行った。 ポイントカードシステムではカード会員や加盟店加入の勧誘を行い、システムの充実を図った。 ポータルサイト構築では、滞在型観光がイメージしやすいパーソナルストーリーを採用した。 人材育成では、毎回違う講師を呼び、様々な角度からおもてなしを学んだ。 小浜島基礎調査では、観光客、観光事業者、島民へのアンケート調査を行い、小浜島の観光の現状と課題の把握を行った。 ガイド届出制度では、観光と環境に精通した委員の意見を基に条例制定を行った。 マナーアップコンテンツ制作では、旅行のモチベーションや満足度を下げないよう工夫した注意喚起動画を制作した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		入域観光客数	()	(1,080,347人)	(1,089,206人)	(1,049,927人)	()
		実績		1,079,635人	1,045,271人	1,026,590人	
	観光入域者を対象とした観光満足度をアンケートを実施し、満足度(「とても満足」:58%)を達成することを指標とする。	目標	()	()	()	(58%)	()
実績					90.3%		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 入域観光客数は減少傾向にあり、目標達成率は97.8%となった。 訪れた観光客の満足度(とても満足)は、90.3%となり、目標を達成した。 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・入域観光客数は減少傾向にあり、要因としては昨年度に引き続き、誘客宣伝活動を減らしたこと、離島巡りなどの日帰り周遊型観光から滞在型観光へのシフトが考えられる。 ・入域観光客数は目標を達成できなかったが、離島巡りなどの日帰り周遊型観光から滞在型観光へのシフト(量より質)を目指していることから、滞在型観光の定着が課題である。 ・ポイントカードシステムの実店舗加盟店が少ない。 ・構築したばかりなのでポータルサイトの認知度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・滞在型観光の現状把握を行うとともに、滞在型観光の推進に向けた誘客宣伝活動に取り組む必要がある。 ・ポイントカードシステムの実店舗加盟店を増加させる取り組みが必要である。 ・ポータルサイトの認知度向上のための取り組みが必要となる。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・滞在型観光の満足度や滞在日数把握のための調査を行うとともに、滞在型観光の魅力発信や旅行メニューの充実を図り、誘客宣伝活動を実施する。 ・ポイントカードシステムのメリットや仕組みをわかりやすくまとめたうえで周知を行い、実店舗加入促進に力を入れる。 ・ポータルサイト認知度(PV数)向上のための広報と内容の拡充を図る。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



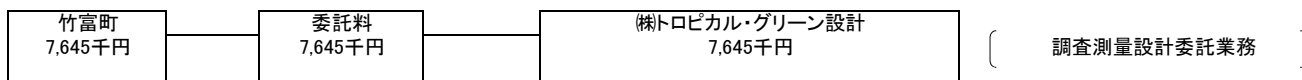
資金の流 れ、費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○竹富町観光協会、YVB、エコツーリズム協会については、それぞれ八重山の観光情勢を熟知していることや町内の事業者との繋がりが、また中立的な立場で事業を行えることを総合的に勘案し業務を委託できることから随意契約とした。その他の委託先については、それぞれプロポーザル方式で選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行状況に応じて適切に予算の流用を行ったことから、適正な予算規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○完了報告時に、費目や使途を検査し、目的に即したものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	船浮イダの道散策路整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部課名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	令和元~2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	イダの浜に訪れる観光客等の利便性確保を図るため、船浮集落からイダの浜へのアクセス通路を散策路として舗装する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		7,820				
			7,645				
			▲ 175				
			—				
			7,645				
		B. 執行済額	7,645				
		うち交付金充当額	6,116				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	補正にて入札残の減額を行い、当初の計画通り事業内容を遂行し適切な予算であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	実施設計業務委託の実施	目標	(実施設計の実施)	()	()	()	
		実績	実施設計の実施				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	当初の計画通り実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)
	実施設計業務委託の完了	目標	()	(実施設計の完了)	()	()	()
		実績		実施設計の完了			
	【R3成果目標】 利用者等を対象にアンケート調査を行い、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	()	()	()	()	(80%)
		実績					
進捗状況説明	地域住民向けの説明会を開催し住民の理解を得ることができ、計画通り実施設計を完了することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	散策路の整備箇所は、自然環境が豊かな地域であることから、周辺環境への配慮が重要である。	散策路の整備にあたっては、周辺に生息する動植物に配慮しながら工事を進める必要がある。
今後の取り組み方針		
天然記念物などの生息が確認された場合、必要な対策を講じ周辺環境に配慮しながら整備工事を実施する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,645	7,645	6,116	1,529	0



資金の流 れ、 点 検 、 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者、は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○不用は生じておらず、予算規模は適正な規模であった。 ○費目、用途については完了段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	児童生徒派遣費補助事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部課名	教育委員会 総務課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
事業内容	児童生徒のスポーツ等競技大会や文化活動コンクールへの町外派遣費を補助することにより費用負担を軽減し、島外の児童生徒との競争や交流の機会を持つことでより広い視野を持ち、竹富町内だけではできない経験をとおして子どもたちの心と体の健やかな育成を促し、離島格差の是正と人材育成に寄与する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	4,038	3,900	3,849	7,074	5,950
	(b) 予算現額	4,038	3,591	5,983	6,032	4,384	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 309	2,143	▲ 1,042	▲ 1,566	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—	
	A. 計(b+d)	4,038	3,591	5,983	6,032	4,384	
	B. 執行済額	2,917	2,835	4,219	5,628	4,384	
	うち交付金充当額	2,333	2,267	3,375	4,503	3,507	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	72.2%	78.9%	70.5%	93.3%	100.0%	
予算の状況の説明	台風や新型コロナウイルス影響により中止になった大会があり、当初予算よりも少ない執行額となったものの、最終的には他事業へ流用し、不用は生じなかった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R1年度		
	児童生徒選手等派遣人数	目標	(596人)	(592人)	(570人)	()	
		実績	652人	976人	1,254人		
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団や個人、文化系活動も補助対象(H30交付要綱改定)となること周知されたことにより、派遣人数は1,254人(前年度比278名増(+28%))となり、目標を達成した。 ・県大会出場や県選抜チームに選ばれた児童生徒もいて、八重山圏域外への派遣にも補助事業が活用された。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		94%	95.4%		
		目標	()	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・申請した保護者へのアンケートしたところ、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合は95.4%となり、目標を達成した。 ・保護者の経済的負担の軽減、離島格差の是正につながっているという意見も多く寄せられており、事業の効果が認められている。 						

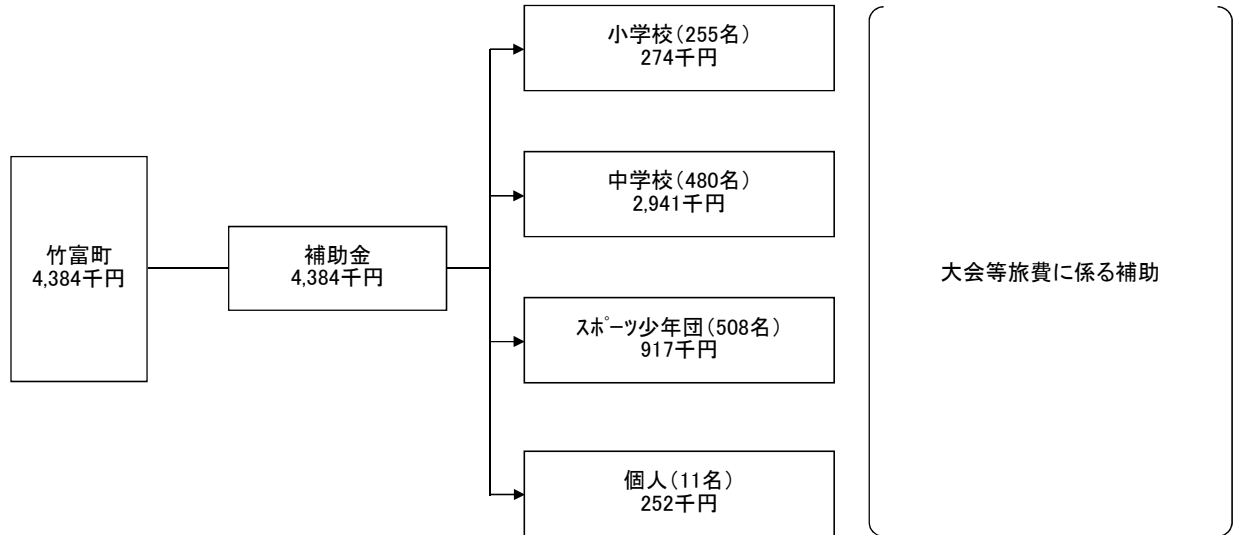
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の手続き書類について、記載の誤り、押印漏れ、添付書類の不足などが多く発生し、事務手続きに時間と手間を要している。 ・補助対象としている大会以外(県代表等の選抜選手として町外で行われる合同練習に参加する場合など)についても補助対象に追加してほしいとの要望がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の手続きがより分かりやすくなるようにマニュアルを作成するなど工夫が必要である。 ・事業の趣旨に合致する県代表等の選抜に対してもきめ細かく対応できるよう適宜交付要綱の見直しなどを検討する必要がある。

今後の取り組み方針

- ・提出する書類リスト、記入上の注意、申請から支払いまでの手順の流れ等をわかりやすいマニュアルにまとめ、配布する。
- ・追加要望のある児童生徒派遣について、交付要綱の改定により、補助対象とすることが可能か検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,384	4,384	3,507	877	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は交付要綱に基づく児童生徒としており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用は生じておらず、予算規模は適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者には一部自己負担を求めており、負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については実績報告で審査しており、真に必要なものと判断した。

市町村名		竹富町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	外国語指導助手派遣事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際社会、情報社会に対応した 教育の推進		
事業内容	生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、外国語によるコミュニケーション能力の向上と国際感覚の養成を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	4,176	4,503	4,182	4,187	4,180
	(b)予算現額	4,175	4,181	4,182	4,187	4,018	
	(c)増減額(b-a)	▲1	▲322	0	0	▲162	
	(d)繰越額	—	—	—	—	—	
	A.計(b+d)	4,175	4,181	4,182	4,187	4,018	
	B.執行済額	4,160	4,178	4,178	4,179	4,018	
	うち交付金充当額	3,328	3,342	3,342	3,343	3,214	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.6%	99.9%	99.9%	99.8%	100.0%	
予算の状況の説明	当初予算額から若干の減額が生じたものの、事業計画どおり執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	・外国語指導助手の派遣 小学校6校 幼稚園3園	目標	(外国語指導助手の派遣)	(外国語指導助手の派遣)	(外国語指導助手の派遣)	(外国語指導助手の派遣)	
		実績	外国語指導助手の派遣	外国語指導助手の派遣	外国語指導助手の派遣 150回	外国語指導助手の派遣 147回	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	小学校6校及び幼稚園3園へ外国語指導助手の派遣を実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		目標	()	(80%以上)	(80%以上)	()	()
	アンケート調査により、児童生徒の興味関心の向上について検証を図る。アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	実績		57%	77%		
		目標	()	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	アンケート調査の結果、外国語や外国文化への興味・関心が高まったと回答した児童生徒は77%となり、目標を達成できなかった。						

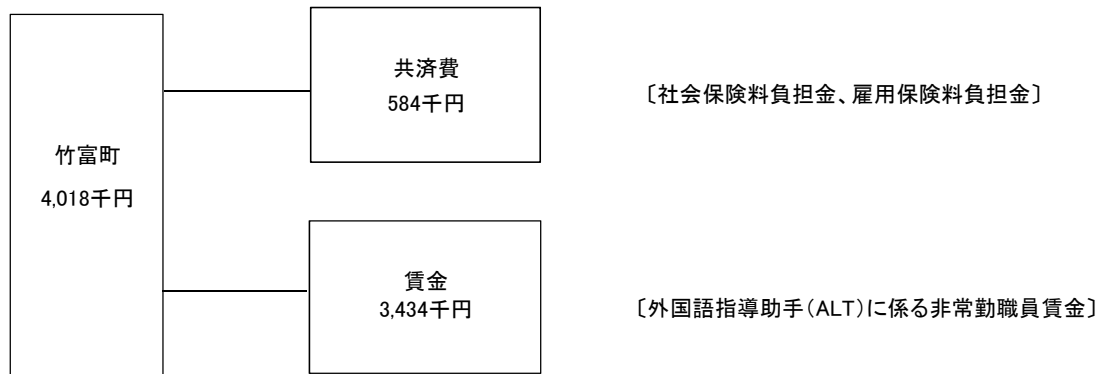
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果より、外国語の会話や活動を楽しんでいる児童生徒は82%いるものの、外国語や外国文化への興味関心が高まったと回答した割合は、目標値(80%以上)に達していない。 天候により船舶が欠航するため、外国語指導手を派遣できない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語や外国文化への興味関心が高まるような授業展開について検討が必要である。 船舶の欠航等により外国語指導手を派遣できない場合は、オンラインを活用した授業が実施できないか検討する必要がある。

今後の取り組み方針

- 年齢層(幼稚園、低学年、中学年、高学年)に応じた外国語や外国文化への興味関心が高まるような授業の展開を工夫する。
- 外国語指導手を派遣できない場合に備え、オンラインを活用した授業の実施を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,018	4,018	3,214	804	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国語指導助手(ALT)の選定については、業務に対する熱意や経験を考慮し、採用面接を実施のうえ選考している。 ○不用は生じておらず、予算規模は適正な規模であった。 ○費目、使途については、招致外国青年就業規則(JETプログラム及びJETプログラムによらない参加者)や竹富町職員の旅費支給に関する条例等に基づき支給しており、目的に即し必要なものであったと判断している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	竹富町和牛生産推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 III-1-(6)		
事業内容	優良母牛の導入支援(購入費の1/2以内上限60万円)及び口蹄疫等家畜伝染病の侵入防止対策を実施し、本町基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備を強化することで産業の振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	28,647	49,700	47,216	58,616	58,566
		(b) 予算現額	47,248	49,695	55,322	58,616	53,090
		(c) 増減額(b-a)	18,601	▲ 5	8,106	0	▲ 5,476
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	47,248	49,695	55,322	58,616	53,090
		B. 執行済額	40,817	44,459	50,755	53,448	53,090
		うち交付金充当額	32,653	35,566	40,604	42,757	42,472
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	86.4%	89.5%	91.7%	91.2%	100.0%
予算の状況の説明	当初計画を上回る優良母牛を導入(計画90頭、実施99頭)したものの、購買価格や経費の減により、不用額が生じる見込みとなったことから、他事業へ流用した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	離島港湾靴底消毒用マット設置6ヶ所(竹富・小浜・波照間・西表東部・西表西部)	目標	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	
		実績	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置	
	優良母牛導入支援	目標	(導入助成)	(導入助成)	(導入助成)	(導入助成)	
		実績	導入助成	導入助成	導入助成	導入助成	
達成状況説明	・町内港湾6箇所に防疫マットを設置し、侵入を防止した。 ・当初導入計画90頭に対して99頭の導入支援を実施し、生産基盤の拡大を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(H年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合	目標	()	(1.22%以上)	(1.22%以上)	()	()
		実績		14.45%	7.16%		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	令和元年度におけるセリ価格において、導入優良母牛から生まれた子牛の平均価格は731,913円(A)、そうでない牛の平均価格は683,004円(B)となり、価格差の割合は107.16%(A/B)で目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 県内で豚熱の発生事例があり、町内での家畜伝染病侵入防止対策の重要性が高まっている。 新型コロナウイルス感染症の影響により、和牛肉の需要低下に伴う子牛価格の減少が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 防疫マットの設置に加え、生産者の防疫意識向上に取り組む必要がある。 子牛価格の下落を想定し、生産コストを削減するなど、影響を最小限に抑える取り組みを行う必要がある。

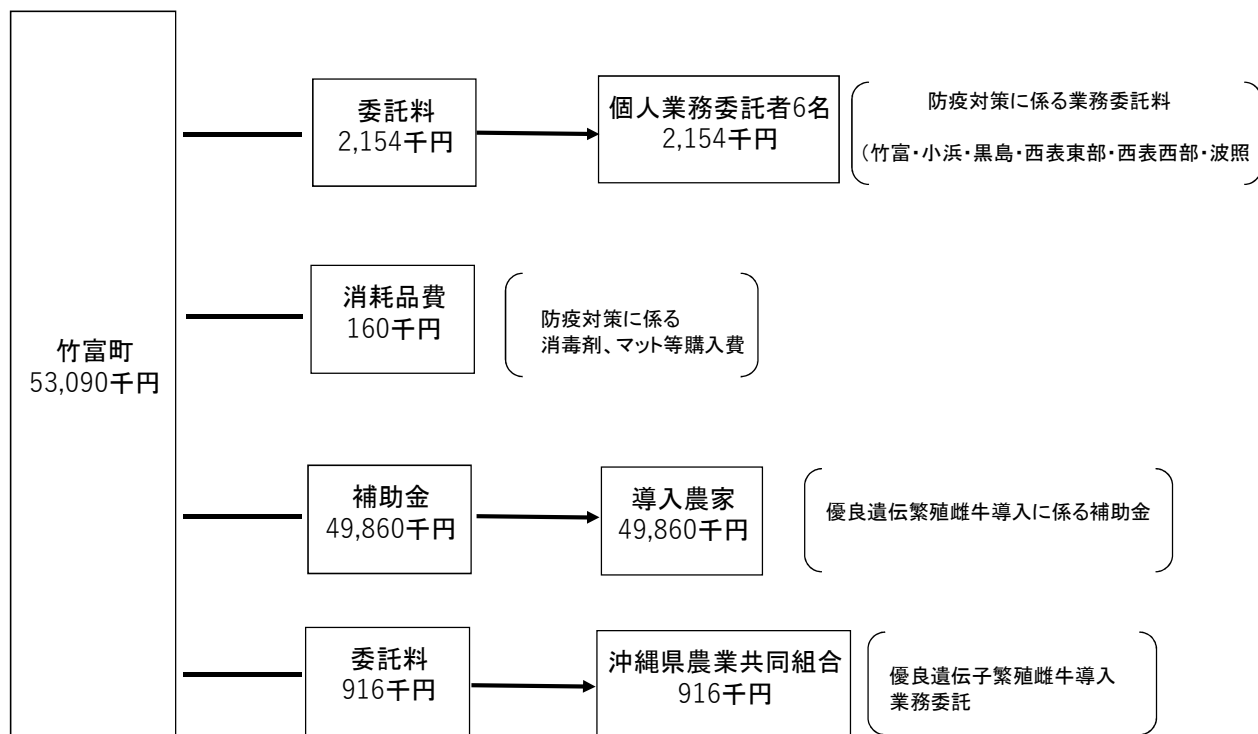
今後の取り組み方針

・家畜伝染病侵入防止対策として各島への防疫マット設置を継続するとともに、家畜保健衛生所等と連携して伝染病等の侵入防止を目的とした講習会を実施するなど、各生産農場での防疫対策の強化に取り組む。

・生産コスト削減に向けて自給飼料率を上げるため、各関係機関と連携し、生産者に対する技術指導等を強化していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
53,090	53,090	42,472	10,618	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務者は各地区肉用牛生産組合で勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○子牛価格の高騰を考慮して予算を確保したところ、不用が生じる見込みとなったため、流用により適正な規模へ見直しを行った。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は導入費用の2分の1を負担しており、負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		竹富町									
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	4-②	竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-ア						
担当部課名	世界遺産推進室	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生物多様性の保全						
事業内容	本事業は、国の特別天然記念物であり世界自然遺産登録の重要なキーポイントとなるイリオモテヤマネコの保護を目的に、島内のペットの適正飼養の推進と併せて傷病鳥獣の保護救命の体制を構築し、世界自然遺産登録候補地となっている国立公園、西表島の生態系や生物多様性の保全推進を図るものである。										
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)										
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度	
		(a)当初予算額	7,622	8,574	8,574	8,574	8,574	12,173			
		(b)予算現額	7,622	8,574	8,574	8,574	12,397				
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	224				
		(d)繰越額	-	-	-	-	-				
	A. 計(b+d)		7,622	8,574	8,574	8,574	12,397				
	B. 執行済額		7,622	8,574	8,574	8,574	12,397				
	うち交付金充当額		6,097	6,859	6,859	6,859	9,917				
	次年度繰越額		0	0	0	0	0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
予算の状況の説明		事業計画どおり執行を行ったが、消費税の増税に伴い若干の増額が必要となったため、他事業から流用して対応した。									
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況								
			H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		
	逸失ペットや傷病鳥獣の保護・収容	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)					
		実績	実施	実施	実施	実施					
	適正飼養普及啓発講演会等を4回開催	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(講演会等4回開催)					
		実績	実施	実施	実施	講演会等4回開催					
	ペット適正飼養推進会議を年1回開催	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(会議年1回開催)					
		実績	実施	実施	実施	会議年1回開催					
	竹富町ねこ飼養条例の改正に向けた検討会を2回開催	目標	()	()	()	(検討会2回開催)					
		実績				検討会2回開催					
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 住民からの情報をもとにノラネコの保護収容を実施した。また、保護収容された個体で所有者の判明しないネコについては、西表島に派遣常駐する獣医師によるウイルス検査や避妊去勢の措置後、島外に移送した。自動撮影カメラ等を使用して所有者不明ネコの生息状況調査を実施した。 普及啓発事業として、飼主を対象にした飼い方の指導講座と、エコツーリズム協会に文化発表会で普及啓発資料の展示を行った。 ペット適正飼養会議を開催し、関係機関で今後の対策について協議を行った。 竹富町ねこ飼養条例改正検委委員会を開催し条例改正案について検討を行った。 									
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)				
	逸失ペット保護収容件数18頭以内(保護頭数)	目標	()	(10頭以内)	(23頭以内)	(18頭以内)	()				
		実績		12頭	4頭	5頭					
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 逸失ペットの保護収容数は、前年度より低い数に収まっている。 保護収容個体のウイルス検査を実施した結果、ネコ白血病やネコ免疫不全症等の感染症は確認されなかった。現在まで、野生のイリオモテヤマネコの方にもペット由来の感染症は発生していない。 普及啓発事業では、現在ネコを飼養している多くの飼主に適正な飼養について指導することができた。飼主以外にも、多くの人が集まるイベントで展示発表を実施し、本取り組みについての理解を広げることができた。 									

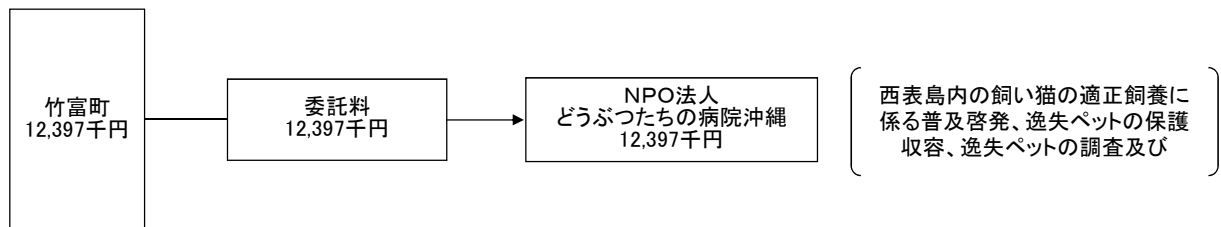
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(逸失ペットの保護収容) ・逸失ペット(ノラネコ)の保護収容数は確実に減少しているが、自動撮影カメラを用いた生息状況調査の結果では17頭が撮影されており、うち8頭は飼主のいないノラネコの可能性が高い。 (感染症の抑制) ・西表島においては感染症の発生について非常に良好な状況を維持しているが、石垣島は非常に危険な状況におかれているので、感染症の流入を警戒する必要がある。 (普及啓発) ・本年度からネコの適正な飼養をより確実にすることを目的に条例の改正検討に着手したが、現条例についても内容に十分に周知されていない部分があった。	(逸失ペットの保護収容) ・引き続きネコの生息状況調査と保護収容数を実施するのと同時に、逸失ペットの発生につながる不適切な飼養を行う飼主への指導を行う。 (感染症の抑制) ・西表島島外からの感染症流入を抑えるために、石垣島や沖縄本島でも周知を図っていく。 (普及啓発) ・条例改正の検討段階から十分な理解が得られるように努める。

今後の取り組み方針

(逸失ペットの保護収容)
 逸失ペット(ノラネコ)“0”の実現に向けてネコの生息状況調査を強化し、保護収容の取り組みも手を緩めることなく続けていく。
 (感染症の抑制)
 西表島の住民向けの普及啓発と同時に、島外への情報発信も積極的に展開していくことによって感染症の流入を防いでいく。
 (普及啓発)
 竹富町ねこ飼養条例の改正検討の過程において、住民からの意見聴取や説明を十分に行い、理解を深めながら取り組んでいく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,397	12,397	9,917	2,480	0



資金の流れ、費用・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は随意契約であったが、業務に関する実績や知識、実施体制等を勘案して選定しており、選定方法については妥当であったと考える。 ○見積書による予算に即して事業を実施しており、予算規模は適正であったと考える。 ○事業完了時に検査を実施しており、費用・使途は適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	文化財美化保全事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会社会文化課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり		
事業内容	本町の有する多くの文化財美化保全を推進し、本町特有の歴史文化や景観を恒久的に維持し、歴史文化財資料及び観光資源として利活用し地域振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	2,930	2,930	2,800	2,800	3,190
		(b) 予算現額	1,930	2,694	2,800	2,800	3,190
		(c) 増減額(b-a)	▲1,000	▲236	0	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		1,930	2,694	2,800	2,800	3,190
	B. 執行済額		1,547	2,694	2,799	2,788	3,189
	うち交付金充当額		1,237	2,154	2,239	2,230	2,551
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		80.2%	100.0%	100.0%	99.6%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画どおり適正に執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	指定文化財16箇所、指定候補文化財7箇所の美化保全清掃の実施	目標	(13箇所)	(14箇所)	(16箇所)	(23箇所)	
		実績	21箇所	24箇所	24箇所	26箇所	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 竹富地区(9箇所・年41回)、祖納地区(6箇所・年4回)、波照間地区(3箇所・年16回)、鳩間地区(3箇所・年9回)、新城地区(4箇所・年6回)、黒島地区(1箇所・年2回)において指定文化財及び指定候補文化財の美化保全清掃を実施した。 当初計画の23箇所に隣接する指定文化財等も併せて実施したため、実績で3箇所増えた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
			()	(80%以上)	()	()	()
	本事業について、観光客や地域住民へのアンケート調査を実施し、文化財の保存が図られているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	()	()	()
		実績		77.1%			
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	観光客や地域住民へアンケート調査を実施した結果、文化財の美化保全が図られているとの回答が77.1%となり、目標を達成できなかった。						

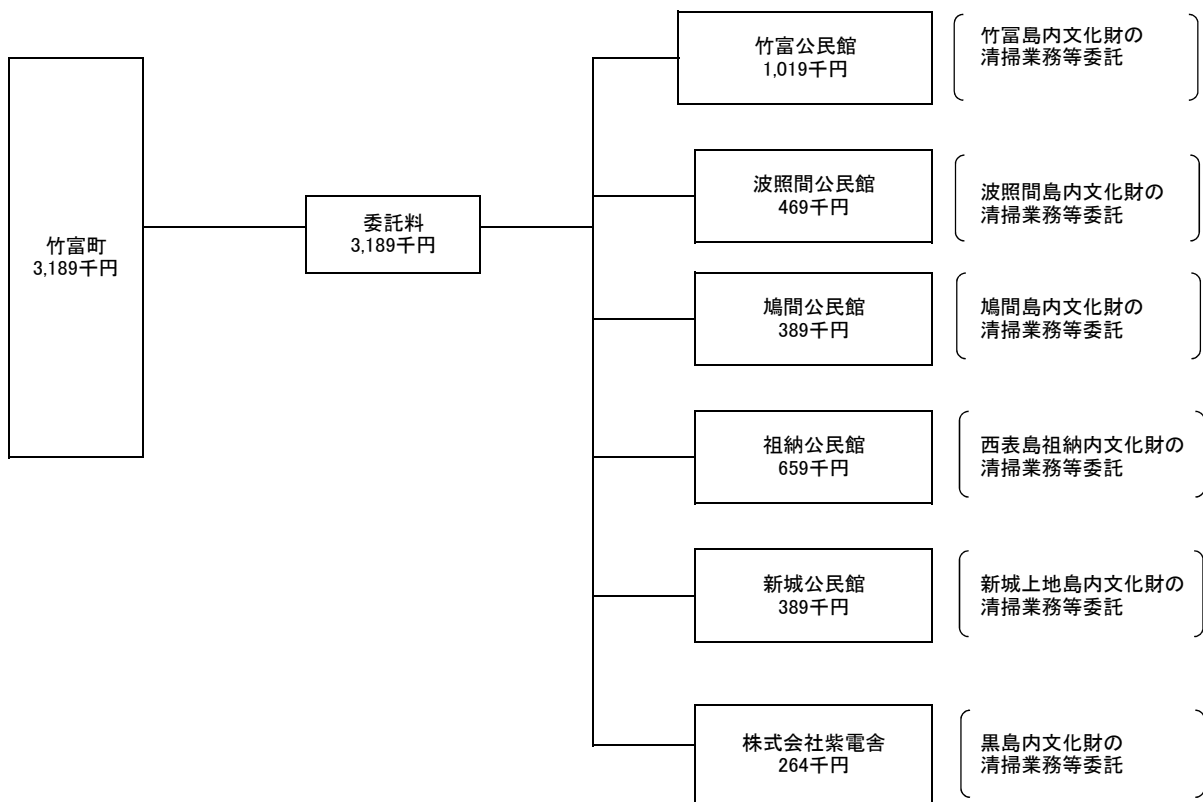
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光客や地域住民へ美化保全事業を実施している場所の文化財を広く周知し、文化財の活用を図る必要がある。	竹富町教育委員会ホームページを活用し、美化保全事業実施場所の文化財のPRとホームページ上でもアンケート集計ができるよう検討する。

今後の取り組み方針

今後は、竹富町教育委員会のホームページ上に町内の文化財情報とその中に美化保全事業実施についても掲載し、文化財の活用及び観光振興を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,189	3,189	2,551	638	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、計画どおり地域公民館に委託して実施した。地域の文化財愛護意識の高揚を図るという観点から妥当と考えている。 ○観光客が見学するため美化保全が必要な箇所を実施を計画しており、予算規模は適正と考えている ○事業は精算払いで、費目・使途が事業目的に即したものが確認し、適切に支出した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	登録有形文化財(建造物)なごみの塔周辺整備事業					
担当部課名	竹富町教育委員会社会文化課	事業実施(予定)年度 令和元年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 文化資源を活用したまちづくり					
		沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-3-(2)					
事業内容	登録文化財を活用した観光を推進するために、危険建造物となっている登録有形文化財(建造物)なごみの塔の修理工事を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	16,280				
		(b)予算現額	16,280				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	—				
		A.計(b+d)	16,280				
	B.執行済額		16,280				
	うち交付金充当額		12,310				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		登録有形文化財(建造物)なごみの塔の修理工事及び石積みの崩落防止工事を含む周辺整備事業を当初予算の計画通りに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	登録有形文化財(建造物)なごみの塔修理工事の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	当初の予定通り期間内に完了することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)
	登録有形文化財(建造物)なごみの塔修理工事の完了	目標	()	(調査・設計)	(完了)	()	()
		実績		調査・設計完了	完了		
	【R2成果指標】 なごみの塔の限定公開イベント(年12回)の際に等に昇降する延べ人数	目標	()	()	()	()	(1,560人以上)
		実績					
進捗状況説明	登録有形文化財(建造物)なごみの塔修理工事の完了により、竹富島のシンボルである「なごみの塔」の崩壊、石積みの崩落等による危険が除去された。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・登録有形文化財を活用した観光スポットである為、安全に配慮した公開ルールを設定する必要がある。ルールが決まるまでは、限定的な公開とし原則として、塔の昇降は行わない。</p>	<p>・安全に配慮した公開ルールを地元住民と早期に検討する。特に、昇降に関しては限定的な公開を原則とし、人数制限や安全に対する条件等を設けることも含め、文化財を痛めない範囲で観光と両立できるルールを検討する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・今後、活用について地元公民館と協議を行い、安全対策を検討のうえ公開を実施していく予定である。併せて、文化財の価値を享受できる公開の方法を模索していく必要がある。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	16,280	16,280	12,310	3,970	0
<pre> graph LR A[竹富町 16,280千円] --> B[工事請負費 16,280千円] B --> C[株式会社 前木組 16,280千円] C --- D[登録有形文化財(建造物)なごみの塔 修理および周辺整備工事] </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○業者の選定は、指名競争入札を行っており妥当だと考える。</p> <p>○予算は、事業内容に応じた積上げ方式の積算に基づいており、適正である。</p> <p>○費目・使途は工程会議・完了検査で確認をしており、事業目的に即した必要なものであると判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	